



東地中海地域ニュース

トルコ・イラク：イラク首相のトルコ訪問 (8月9日付トルコ各紙報道)

1. 8月8日、トルコを訪問したマーリキー・イラク首相は、セゼル大統領及びエルドアン首相と会談した。イラク首相には、外相、PKK 対策特別調整官、内相、石油相、青年・スポーツ相、科学技術相が同行した。
2. エルドアン首相とマーリキー首相が二人だけで約2時間にわたり会談を行った後、両首相の同席の下で両国代表団の協議が行われた。同協議は予定時間を大幅に超過し、その結果、両首相による記者会見も大幅にずれ込んだ。
3. 協議では、エルドアン首相及びギュル外相が「治安協力協定」への署名を促したのに対し、マーリキー首相は、同協定への署名は自分の権限を越えており、事前にイラク議会に諮る必要があるとして、これを拒否した。もっとも、マーリキー首相の署名拒否の実質的理由は、バルザーニ・クルド地方政府大統領が、同協定で PKK がテロ組織として言及されていることに異議を唱えたことによるものとされている。
そして、長時間にわたる協議の末、マーリキー首相は、トルコ・イラク間の PKK 対策の協力に関する MOU に署名をした。更に、テロ及び組織犯罪対策に関し、両国内務省間で MOU が署名された。又、エルドアン首相は、北イラクの PKK 幹部を含む PKK 構成員リストをマーリキー首相に提出し、彼らのトルコへの引き渡しを要求した。
4. 両首相は、(1)バスラにトルコ総領事館、ガージアンテップにイラク総領事館の開設、(2)次回イラク周辺国拡大大会合のイスタンブールでの開催に合意した。
5. 記者会見での両首相の発言：
 - (1) エルドアン・トルコ首相
 - (イ) 我々は、PKK のイラクでの存在を排除するために、あらゆる措置をとる事を合意した。更に、両国は、「治安協力協定」の早期締結にいつそう努力する事を合意した。
 - (ロ) マーリキー首相のトルコ訪問は、トルコがイラクの民主化プロセスを支援する事を確認する良い機会であった。我々は、イラク中央政府との対話と融和を通じたイラク国内問題解決の為の努力を支援していく。
 - (ハ) イラク代表団より、石油法、憲法改正、キルクークの最終的地位確定に関する最新状況の説明を受けた。
 - (2) マーリキー・イラク首相
 - (イ) 我々は、(既に) PKK 及びその他テロ組織対策に関する二国間協定を持っている。我々は、PKK 及び類似のテロ組織がイラクを避難場所とすることを許さない。イラク側は、イラク・トルコ間協力の早期開始を望んでおり、テロ問題をトルコと共に解決すると決意している。テロが両国関係発展の障害になってはならない。
 - (ロ) 今回署名された MOU は、クルド地方政府を拘束するものである。クルド地域はイラクの一部であり、クルド地方政府は、イラク中央政府が結んだ合意を遵守せねばならない。
6. トルコ・イラク両国は、エネルギー分野での協力についての MOU にも署名した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799